

佐倉市議会だより



2023年8月15日
(令和5年)

発行：佐倉市議会 編集：広報公聴委員会 〒285-8501 佐倉市海隣寺町 97 番地 TEL 043-484-6254 FAX 043-486-2508
佐倉市議会ホームページ <http://sakurashigikai.gijiroku.com> メールアドレス gikai@city.sakura.lg.jp



上段：石井昇 押木孝和 高橋とみお 石井秀明 齋藤寛之 密本成章 長谷川泰弘 三井義文 三谷英継
中段：宇田みおこ 稲田敏昭 松島梢 鍋田達子 齋藤明美 望月庄子 橋岡協美 木崎俊行 徳永由美子 山本英司
下段：伊藤とし子 高木大輔 五十嵐智美 岡村芳樹 櫻井道明 爲田浩 平野裕子 村田穰史 敷根文裕
〔市民の代表として、市民からの要望や意見を市政に反映させる市議会議員〕

5月臨時会

議長に 岡村 芳樹 議員 を選出
副議長に 齋藤 明美 議員

5月臨時会を5月19日に開催し、市長から「佐倉市税賦課徴収条例の一部を改正する条例の制定について」ほか1件の議案が提出され、審議の結果、可決・同意しました。

また、議長・副議長・各組合議会議員の選挙、各常任委員や議会運営委員の選任を行いました。



第67代 議長
おかむら よしき
岡村 芳樹 議員
平成15年4月初当選以来、連続6期目。この間、第55代副議長、議会運営委員長などを務める。
〔所属会派・公明党〕



第65代 副議長
さいとう あけみ
齋藤 明美 議員
平成27年4月初当選以来、連続3期目。この間、文教福祉常任副委員長、建設常任副委員長などを務める。
〔所属会派・さくら会〕

6月定例会

会期 6月12日～7月3日

令和5年6月定例会を6月12日から7月3日までの22日間で開催しました。

今定例会では、市長から「令和5年度佐倉市一般会計補正予算」など議案23件、諮問1件が提出され、審議の結果、可決、同意しました。請願・陳情については、「『国における2024年度教育予算拡充に関する意見書』採択に関する請願書」など8件、議員提出議案は、「国における令和6年度教育予算拡充に関する意見書」など14件が提出され、審議しました。また、一般質問には各会派の代表質問に7人、個人質問に10人が登壇し、市政に対する質問を行いました。

●会派・各常任委員会等

議席番号順、※会派代表者、◎委員長、○副委員長、◇オブザーバー

会派	総務常任委員会	文教福祉常任委員会	経済環境常任委員会	建設常任委員会	議会運営委員会	議会改革推進委員会	広報公聴委員会
さくら会	◎敷根文裕 爲田浩	○密本成章 齋藤明美 ◎高木大輔	○望月庄子 ※平野裕子	◎村田穰史 櫻井道明	村田穰史 高木大輔 ◎平野裕子	村田穰史 ◎平野裕子	密本成章 望月庄子 ◎高木大輔
自由民主党	石井秀明 ○徳永由美子	橋岡協美	◎山本英司	齋藤寛之	齋藤寛之 ◎山本英司	◎山本英司	○石井秀明 橋岡協美
公明党	岡村芳樹	鍋田達子	長谷川泰弘	◎押木孝和	鍋田達子	※押木孝和 ◇岡村芳樹	長谷川泰弘
市民ネットワーク	※伊藤とし子	松島梢		五十嵐智美	五十嵐智美	※伊藤とし子	松島梢
日本共産党		石井昇	※木崎俊行		石井昇	※木崎俊行	石井昇
公開と改革	※稲田敏昭			高橋とみお	高橋とみお	※稲田敏昭	高橋とみお
無会派の会			※三井義文 宇田みおこ		宇田みおこ	※三井義文	
会派に属さない議員				三谷英継			三谷英継

●組合議会等

議席番号順

印旛衛生施設管理組合	宇田みおこ、密本成章
印旛利根川水防事務組合	高木大輔
佐倉市、酒々井町清掃組合	徳永由美子、伊藤とし子、村田穰史
佐倉市、四街道市、酒々井町葬祭組合	木崎俊行、鍋田達子、敷根文裕
佐倉市八街市酒々井町消防組合	稲田敏昭、押木孝和、櫻井道明
千葉県後期高齢者医療広域連合	山本英司
印旛郡市広域市町村圏事務組合	岡村芳樹(議長)
佐倉市監査委員	爲田浩

*佐倉市議会委員会条例に基づき、常任委員の任期は1年です。

郵便・メール・FAXでのご意見、ご感想をお待ちしております。

市政に関する

一般質問

一般質問通告要旨

代表質問

※は持ち時間60分、それ以外は30分。()内は会派名

Table with 2 columns: Member Name (e.g., 平野裕子, 徳永由美子) and Topics (e.g., ①市長の政治姿勢, ②活気あるまちづくり).

個人質問

Table with 2 columns: Member Name (e.g., 鍋田達子, 橋岡協美) and Topics (e.g., ①子育て支援・教育の充実について).

◎上記の通告内容は、質問者から議長に文書で通告のあった内容に従い、大項目のみ掲載しています。

6月定例会では、6月19日から6月22日までの4日間にわたり一般質問を行いました。

市政に対し活発な議論が展開されましたので、その一部を掲載します。

代表質問

Header for Representative Question section featuring 平野裕子 (Sakura Kai) with a QR code and photo.

今後の市政運営について
問 1期目は、大きな自然災害や新たな感染症により、極めて厳しいかじ取りを強いられたとのことだが、2期目は強いリーダーシップの下、佐倉市を元気にしていただけるものと期待している。

ていると思う。今後の対策は。
答 通学路交通安全プログラムによる合同点検と、令和3年度に実施した土木部の通学路点検の2つに基づいて整備を進めていく。

通学路の安全対策
問 八街市の事故を受けて、通学路の緊急一斉点検を実施し、対策が必要な箇所の整備を令和4年度末までに完了したとのことだが、それ以外の箇所でも学校や地元から整備要望が上がっ

今後の公共施設再配置方針案や社会環境の変化などを踏まえ、配置の検討には、部局横断的に、さまざまな観点から取り組んでいく必要があると考える。
問 子供たちの学習環境を最優先に考え検討を進めること。

Header for Representative Question section featuring 徳永由美子 (Liberal Democratic Party) with a QR code and photo.

子どもの居場所づくりについて
問 「子どもの居場所空き家バンク」を創設し、無償または格安で空き家提供を呼びかけることができるのではないかと。
答 どのような形がより応援をいただきやすいのか、他市の先進事例なども研究を進め、関係部署それぞれが子どもたちにとって何ができるかという視点を持って検討する。

既に実施している園の受け入れ枠拡大を進めるとともに、令和6年度は新たに2園で事業を開始できるよう進めている。
佐倉の自然を生かした子育て環境づくりについて
問 プレーパークで公園の利活用を促進することにはどのような政策効果があり、今後どのように発展させていくのか。

保育・学童の充実について
問 実際に佐倉市で子育てをしている方々の声に応えることが最大のシティープロモーションである。保育園の申請はオンラインにするべきではないかと。
答 新年度の入園案内が開始となる10月には、オンライン申請の完全実施ができるよう申請制度の改正事務を進めている。
問 今後の認定こども園や認可保育園での一時保育の拡充は。

市内の子育て環境が充実し、子育て世代の移住定住が促進される。市民団体等の活動を積極的に支援し、PRしていく。
オーガニック給食の進捗状況について
問 学校給食への有機農産物の導入はどのように進めていくか。
答 学校と生産者等を結びつけることが最も大切な取り組みだ。
問 オーガニックビレッジ宣言を市のブランドイメージとして、若い新規就農者の定住促進と子

育て世代の定住増につなげてほしい。

行政改革について

問 私の多部局における提案質

間は市民から徴収する前にやらなければならないことがたくさんあるということを示している。西田市政に期待する。

公明党 おしき たかより
押木 孝和



市民に寄り添った市政の取り組みについて

問 市が今後、取り組むべき子育て支援策で、主な施策はどのようなものがあるか伺う。

答 子育て支援策の拡充は大変重要な政策である。今定例会に、子ども医療費助成制度拡大に係る補正予算を提案した。

資源循環型のまちづくり

問 公明党の訴えで、昨年4月から、ペットボトルの回収がスーパー等の拠点回収から集積所回収となった。回収方法の変更から1年が過ぎたが、ペットボトルの回収量やリサイクルの状況について伺う。

答 令和3年度は約58トン、令和4年度は約238トンとなり、約4.1倍となった。回収された

ペットボトルは、新たなペットボトルに再生されるほか、衣料品の原料として使用されている。**高齢者・障がい者が安心して投票できる環境整備について**

問 介護が必要な障がい者の方や高齢者の方が投票に来られた時の対応について伺う。

答 必要に応じて備え付けの点字器等による点字投票や、代理投票の案内を行うよう、投票所の事務従事者に指導している。

問 投票に際し、必要な支援を口頭で申し出ることが困難な方や苦手な方が事前に記入できる「選挙支援カード」の導入を提案するが、市の考えを伺う。

答 市民の皆さんの利便性向上が見込まれるため、導入する方向で考えている。

佐倉市・平和条例は、条文で軍縮を求めている

問 岸田政権は、今後5年間の軍事費を43兆円とし、国立病院機構等の積立金計約750億円を軍拡予算に充てようとしている。社会保障費は今年も1,500億円が削減され、中小企業、農業予算も削減された。教育予算も圧迫されることは明らかだ。43兆円の軍事費は、国民1人当たり34万円、4人家族なら136万円にもなる。禁じ手の軍事国債も

発行する。日本を守るには軍備拡張しか方法はないと考えるか。

答 安全保障については、国において今後もその役割が適切に果たされると認識している。昨今の世界情勢を踏まえ、国が防衛力の強化を図っているのは承知しているが、社会保障費を削減している認識はない。

問 平和都市宣言は、軍縮はもとより、と軍縮を求めている。間違いはないか。

答 間違いはない。

公開と改革 いなだ としあき
稲田 敏昭



市長の政治姿勢について

問 市長選において185票差の僅差だったが、この結果をどう受け止めるか。

答 一定の評価をいただいた。

問 佐倉に住み続けたいからこそ出てくる市民の声・要望にどう応えていくか。

答 この選挙の結果が全て。185票差の思いを4年間で果たしていく。

問 近隣では人口は増えている。イベントや観光で定住促進が進むのか。

答 種をまいたものが、この4年で見えてくる。次の国勢調査では違った結果が出るよう頑張っていく。

マイナンバーカードについて

問 マイナンバーカードを巡る

トラブルが続いている。本年5月末時点の申請件数及び発行枚数、交付率はいくらか。

答 累計交付件数は12万1,518件、住民基本台帳人口に対する交付率は71.1%。総務省から提供される資料によれば、令和5年4月末時点の累計申請件数は13万6,809件、申請率は79.4%。

問 再発行件数とその原因は。

答 令和4年度再発行件数は614件で、再交付の主な理由は、紛失、破損、有効期限切れなど。

問 トラブルも多く発生している中で、世論調査でもマイナ制度に不安が73%、健康保険証廃止反対が56%。佐倉市も国に健康保険証の廃止延期や健康保険証の併用も含めた要望をさせていただきたい。

市民ネットワーク いとう としこ
伊藤 としこ



市立佐倉幼稚園閉園問題

問 インクルーシブ教育に定評のある佐倉幼稚園を閉園させることは支援の必要な子を見捨てることになる。公立幼稚園の社会的役割をどう考えているのか。

答 一定の役割を終えた。私立幼稚園も障がい児を受け入れている。閉園は現在協議中である。

問 障害者差別解消法での合理的配慮が懸念される。

答 個々の状況に合わせ合意形成を図っていく事が大切である。

教職員性暴力問題CAP導入を

問 昨年4月から「教職員の児童生徒性暴力防止法」が施行されたが教員の性暴力事件は後を絶たない。事件が起きてからケアするのではなく、子どもが自分を守る方法を学ぶCAPワー

クショップを学校に導入すべき。

答 導入はしていないが、CAPは認識している。相談業務等を充実させ、子どものサインを受け止められるよう努めている。

HPV（子宮頸がん）ワクチン薬害問題

問 接種後12年経過しても治療方法もなく、重篤な副反応に苦しんでいる被害者は大勢いる。副反応報告は他の定期接種の8倍超、重篤頻度は7倍超。厚労省リーフによれば新しいシルガード9はさらに副反応のリスクが高い。副反応報告頻度が高いことを市HPに掲載すべきである。

答 厚労省HPのリンクを張り接種後の副反応や症状が出た際の相談先等を確認できるように設定してある。更新の予定はない。

日本共産党 きざき としゆき
木崎 俊行



選挙公約から消えたか 人権尊重・平和条例の思いを次世代に

問 選挙公約にあった「人権尊重、平和条例の思いを次世代に継承」をなぜ5月15日号のこうほう佐倉に掲載しなかったのか。

答 市では平和と人権を尊重す

るまちづくりを進めている。これらの取り組みは行政全般に普遍的に関わり、恒常的に推進すべき施策と考える。広報については、適正な時期での実施が課題と捉えており、8月15日終戦記念日に特集号として掲載予定。

無会派の会 みつい よしふみ
三井 義文



食の安全保障について

問 農業資材等の輸入を加味した国の食料自給率の実態は、8%程度しかなく、佐倉市民生活を守るには市単体での自給率向上が不可欠。市長の考えは。

答 食料安全保障は重要課題と認識し、安定的食料確保に市独自に継続して積極的に取り組む。

問 水の確保も重要で今後も民営化せず市配下に置くべきでは。

答 市が直接経営し、安心、安全な水道水を届ける。民営化は考えていない。

問 食料添加物、残留農薬の危険性について市民へ知識を広め、健康的食生活の導きが必要。コオロギ食もすべきではない。

答 市として食品添加物ほか、食に関する正しい知識の普及、

母子・成人保健事業において健康教育など啓発を実施。コオロギ食は推奨していない。

有機農業拡大について

問 世界的に有機農業市場が拡大しているが、休耕地再農地化も含めた有機農業推進の現状は。

答 オーガニックビレッジ推進、新規就農者支援し、市内農地4.3%の休耕地活用も図っていく。

市民の健康保護

問 コロナ罹患後の後遺症の現状把握、健康被害者相談に努め、子供へのコロナワクチン接種は禁止すべきでないか。

答 市の健康管理センターで専門職が対応。接種希望の方には予防効果とリスクについて情報提供し、接種機会は提供する。

問 子供の接種は禁止すべし。

個人質問

なべた たつこ
鍋田 達子 公明党

子育て支援教育の充実について
問 不適切保育について、市の対応を伺う。

答 本年1月、不適切保育の防止を目的に、施設長研修を実施。同6月より巡回支援を強化し、全ての保育施設に対して定期的に訪問することとした。

問 給食費の無償化は大事な子育て支援と考える。見解を伺う。

答 子育て世代の経済的負担を軽減する支援策としては有効なものと考えているが、事業実施には安定的な財源確保が必要。経済的困窮世帯等に十分な支援が行き届くよう、まずは就学援助制度等に引き続き取り組んでいく。ぬくもりのある福祉の充実について

問 緑内障の早期発見・早期治療への取り組みについて伺う。

答 市HPにアイフレイルチェックリストのリンクを張り、眼科への定期受診を勧奨している。

問 引き続き、緑内障検診の導入を要望する。

行政サービスの推進について

問 DX推進方針に基づいた市民サービスの向上・行政内部の効率化への取り組み状況を伺う。

答 行政手続きのオンライン化の拡充や市民向けデジタルサービスの推進に取り組んできた。今後は市民向けスマホ講習会や各種手数料等のキャッシュレス決済の導入準備を進めており、人に優しいデジタル社会を実感していただけるよう努める。

はしおか きょうみ
橋岡 協美 自由民主さくら

市長の政治姿勢について

問 目指すべき佐倉市のグランドデザインは。

答 将来都市像「笑顔輝き 佐倉咲く みんなで創ろう『健康・安心・未来都市』」である。

市民の健康推進と健診・検診

問 受診率アップの取り組みは。

答 1日で受けられる検診の種類や定員を増やすこと・前日予約できる仕組みの導入を検討。

P T A活動の担い手不足

問 市P連等外部団体の出席も負担。学校の樹木剪定等を街区公園の管理委託に組み込むなど、担当課の縦割りを排して教職員が教育に力を注げる環境づくりと、P T A活動のスリム化を。介護保険でカバーできない買い

物支援、草取り、ごみ捨てなどの地区社協支え合いサービス

問 固定費もなく、ボランティアながらガソリン代や携帯電話代の個人負担をしているコーディネーターに頼るうちに、サービスが立ち行かなくなるのでは。

答 そのような課題を改めて整理の上、市からの補助制度の見直しなどについても検討する。

市高齢者クラブ連合会(市高連)

問 市高連主催のグラウンドゴルフ大会・大運動会に参加する際、乗車料金がタクシーよりも安く、コミュニティバスより高くて使い勝手のよい移動手段を模索する必要あり。また、高齢者クラブの最低登録人数25名から20名に引き下げ、補助金を。

協議を進めながら、学校給食へ地場産農作物を増やすためにも、有機農産物の活用を進めていく。

問 佐倉市には先進的な取り組みをする生産者がおり、協力も惜しまないと言っている。オーガニックビレッジ宣言でうたっているように、有機農業以外の生産者にも引き続き支援をし、消費者の多様なニーズにも応え、佐倉市の農業がさらに発展できるよう求める。

もちづき あつこ
望月 庄子 さくら会

オーガニックビレッジ宣言について

問 有機農業を推進し、どのように学校給食に有機農産物を提供していくのか伺う。

答 今年度も有機農産物の学校給食への利用を進める予定。オーガニックビレッジ推進部会は、生産者情報を学校栄養士に提供することや、生産者同士のネットワーク化を検討中。今後もJ A千葉みらいなど、関係機関と

障がい者支援について

問 障がい者の自立した生活のため、安定した収入を得られるように、どのように就労支援を行っているのか伺う。

答 市の委託相談支援事業所の相談支援専門員が、その方の希

望や障がい特性に合った支援を行っている。また雇用継続を図るための相談対応などの支援を行うなど、相談支援事業所と連携し、障がいのある方に寄り添った相談、サービスの利用提供が円滑にできるよう努めていく。

いしい のぼる
石井 昇 日本共産党

学校給食費無償化について

問 教育としての学校給食は、憲法第25条及び第26条による権利として享受されなければならない。国民に約束した義務教育無償の実現に背を向ける国と、財政力は弱いけれど、約束を果たそうと努力している地方自治体の姿が、今こそ際立って見えるときはない。本市も学校給食費無償化を国に強く要求していくとともに、市独自の無償化についての考えを伺う。

答 さまざまな状況を精査しながら、教育委員会だけの対応というわけにはいかないので、関係部局と調整を重ねながら検討をしまいたい。

就学援助制度について

問 制度の利用者を増やしていくためには、周知の徹底とともに保護者に対する最大限の配慮が必要かと考える。

多くの学校では、就学援助に関わる通知を学級担任から子どもに渡し、子どもから保護者に届けられているようだが、全て郵送で行うよう要望する。

答 学校生活の中で就学援助の対象者が特定されないよう、特に配慮を行っている。一部不適切な対応も見受けられたことから、配慮の徹底について各学校に通知をする。

問 ぜひそのように前進させていただきたい。このことが実現すれば、就学援助を利用するハードルが下がると思う。

はせがわ やすひろ
長谷川 泰弘 公明党

安心安全なまちづくりについて

問 介護施設における防災減災対策のため、施設整備交付金を活用すべきと考えるが、佐倉市の見解を伺う。

答 利用者の安心安全の確保に資する施設整備交付金を積極的に活用し、意向調査により事業者から要望があれば、補正予算により対応していきたい。

問 道路整備着工が遅れている市道I-3号線の今後の事業展開を伺う。

答 本件は用地買収して歩道を整備する計画であったが、今後は整備計画などを見直し、早期に事業を実施できるよう努める。

問 自転車用ヘルメット購入時の経済的負担軽減に対する補助

について伺う。

答 着用促進の効果など、先進事例を調査研究していく。

市民サービスの向上について

問 高齢者や障害者に優しいまちづくりの観点から、コミュニティバス等の拡充について伺う。

答 公共交通アンケートをはじめ、コミュニティバスの利用実績の調査などを実施し、公共交通のニーズの掌握に努める。

また、民間路線バスの利用者調査や市内交通事業者との意見交換等を通じ、公民連携も進めていく。

公共交通網の維持と利便性の向上に向け、バスルートなど既存施策の検証を含め、計画の見直しを進めていく。

たかはし
高橋 とみお 公開と改革

市からの貸与掲示板について

問 自治会へ市が貸与している掲示板について伺う。先般、地元の掲示板の基礎部分がぐらつく事案が発生した。そこで、掲示板の基礎がぐらつくなど、危

険な状態にある際の補修工事は市と自治会のどちらが行うのか伺う。あわせて、当該掲示板を因として、死亡事故等が発生した場合の責任の主体を伺う。

答 市が自治会に貸与した掲示

板の設置や補修に係る工事は自治会に行ってください。また、死亡事故等の責任の所在は市が負うところが多いが、管理状態によっては自治会にその一部を負っていただく可能性もある。

問 自治会に一部でも責任を負ってもらうのは難しい。年間の掲示板補修の依頼件数をみると、市職員向けの持ち家手当を廃止すれば賄える予算だ。いずれにせよ、市としてしっかり方向性を示すようお願いする。

応急仮設住宅予定地について

問 大災害時の応急仮設住宅の建設予定地について、現在具体的に定めがあるのは西志津多目的広場のみだが、最大207戸と不足している。国道296号線沿いにある江原新田無線送信所跡地を予定地とするのはどうか。

答 基本的には公共用地を優先的に活用する予定だが、民地の江原新田無線送信所跡地も広大な平地であるため、候補地として協力可能か協議を進める。

うだ **宇田 みおこ** 無党派の会

185票差当選の西田市長に問う

問 過去4年間の人口減少数は県内2番目に多い5,483人。増減率はマイナス0.032%と、類似・近隣10団体ワーストワン。持続可能な佐倉への最重要政策は。

答 子育て支援策や基盤整備などハードソフトの両面、今日的な課題に加え、将来をも見据えた施策をバランスよく推進する。

問 ふるさと広場拡張整備費用と、民間事業者の市への利益還元方法、市民参加について伺う。

答 民間事業者負担、公園用地周辺整備費用を除き約13億4千万円。公募条件設定等で検討する。市民意見を伺いながら計画立案を進めてきた。今後も様々な意見を反映できるよう努める。

問 新佐倉図書館の前例がある。市民と合意形成を図り、完成後に問題が起きないように求める。

学校給食費無償化を求める

問 無償化に必要な費用、少子化対策などに有効か見解を問う。

答 市長：継続的な多額の財源確保が必要なため、まずは就学援助制度や、多子世帯への給食費補助を着実に実施していく。

答 教育長：約6億8,600万円。経済的負担を直接的に軽減するもので、有効な政策の1つ。

問 有機食材導入へ取り組みは。

答 より生産コスト低減に可能な栽培方法の習得や栽培技術向上に向けた研修を実施していく。有機農業関連の国の補助事業等活用し、財源の確保にも努める。

まつしま こずえ **松島 梢** 市民ネットワーク

佐倉幼稚園の閉園問題について

問 公立幼稚園は特別な支援が必要な園児の受け入れを可能な限り行ってきた。私立に入園できても集団行動できず10日で退園を言い渡されたとの声もある。公立の閉園で困る子はいないか。

答 私立幼稚園でも多数受け入れている。引き続き関係機関と連携し、対応に努める。

問 保護者の意見を聞かずに、短期間に閉園の結論ありきで、一部の人の意見で決定されたことが大変問題である。存続の可能性を含め再検討すべき。

答 方針案は協議の段階であり決定ではない。今後、教育委員会会議において、総合的な観点から協議していく。

有機給食導入について

問 有機給食を進めるには、センター方式等の方が進めやすいこともある旨の発言が市長からあった。佐倉市の学校給食の特色である自校式給食は絶対になくすべきではない。見解を伺う。

答 現在やめる計画はないが、施設老朽化への対応等、検討の必要性も出てくると考えている。

佐倉図書館の問題について

問 図書館の駐車場出入口が狭い。車から歩行者が見えず、いつ事故が起きてもおかしくないとの声が多数寄せられている。危険でも見栄えを重視したのか。

答 各種技術基準に準拠して設計している。ランプや安全ミラーを設置し安全を確保している。

いがらし ともみ **五十嵐 智美** 市民ネットワーク

ふるさと広場拡張整備基本計画

問 チューリップフェスタで借りている土地を取得し通年型の公園にするための総事業費は13億4千万円。さらに国の補助金交付のために周辺整備を追加し事業費増になるが、その内容は。

答 周辺の道路整備、水辺デッキの設置等。事業費は精査中。

問 市長選でふるさと広場を含む大型公共事業優先ではなく福祉優先の公約を掲げた清田候補は、ほぼ同数の票を獲得。現市長に大型公共事業の再考を促しているのではないかと。

答 バランスよく進めていく。

中学校の部活動の地域移行

問 生徒の減少で部活動維持が難しい問題や教員の働き方改革

を目的に運動部の部活動を地域の団体や民間企業等へ移行。デメリットとして参加費用等の経済的負担がある。これは教育の平等が損なわれるのではないかと。

答 総合的に勘案し、検討する。

2023年度教員が未配置となった学校への対応と今後の方針

問 4月の始業式時点での教員不足は9校。4月中旬には1年生の担任がいなくなる事態が起きた小学校がある。市の対応は。

答 県教育委員会に講師配置の依頼や情報提供を行っている。

問 子どもの学びを守るため市として対策が必要。船橋市では、市独自で講師を募集し教師不足に対応。この取り組みはどうか。

答 情報収集し、研究を進める。

しきね ふみひろ **敷根 文裕** さくら会

人口減少・少子高齢化対策について

問 市の人口はこの4年間で4,439名減少、合計特殊出生率の2024年の目標は1.46であるが、現在は1.12である。今後どのような方針を打ち出すのか。

答 子育て施策のさらなる拡充を図るとともに、豊かな自然を生かした多様性に富んだ子育て環境整備など、子育てに優位なまちとしてのブランドを確立すべく、まちづくりを進めていく。

問 住宅総数7万5,840件に対し空き家が7,090件、約9.35%で毎年50件程度のペースで増えている。市の住宅政策は魅力的なものが多いので広報の強化などの取り組みが必要ではないかと。

答 金額だけではなく、使いやすさ、実績などを含め各種住宅関連補助金の広報の在り方について検討していく。

歴史・自然・文化を生かした教育・観光について

問 佐倉市には過去から続く文化的な側面も多く見受けられる。しかし、市内に私立高校もなく、敬愛短大の撤退などもある。今後の取り組みとして、大学等の教育機関の誘致も、街中のにぎわいを取り戻すために検討してほしい。市の考えを伺う。

答 魅力ある教育機関の進出はまちのにぎわい創出につながることを認識している。誘致策、進出を希望する教育機関の情報等はないが、今後研究していく。

タブレット端末を導入しました

議員活動の強化、議会運営の効率化・円滑化を主な目的として、令和5年5月臨時会からタブレット端末を導入しました。



特別表彰〔議員在籍20年以上〕

- ・櫻井 道明 議員
- ・藤崎 良次 (前) 議員

議員として、地方自治の伸張、発展と市政の向上、振興に貢献された功績に対し、上記議員が全国市議会議長会から表彰されました。

感謝状

- ・高木 大輔 議員

全国市議会議長会評議員としての功績に対し、上記議員に全国市議会議長会から感謝状が贈られました。



令和5年5月臨時会 議案賛否一覧

議決結果欄 可 可決 同 同意 〇 賛成 ㊗ 反対 除 除斥 議 議長

Table with columns for bill number, name, and voting results for 27 council members across various parties like Sakura Kai, Liberal Democrats, etc.

令和5年6月定例会 議案賛否一覧

議決結果欄 可 可決 否 否決 同 同意 採 採択 不 不採択 〇 賛成 ㊗ 反対 議 議長

Table with columns for bill number, name, and voting results for 27 council members across various parties like Sakura Kai, Liberal Democrats, etc.

Table with columns for request number, name, and voting results for 4 requests.

Table with columns for statement number, name, and voting results for 4 statements.

Table with columns for bill number, name, and voting results for 14 bills proposed by council members.



議案に対する会派等の意見

さくら会

議案第2号 令和5年度佐倉市一般会計補正予算に賛成

令和5年度佐倉市一般会計補正予算については、当初予算が、統一地方選挙を踏まえ、骨格予算として編成されたことから、政策的な経費を中心とした、いわゆる肉付け予算として編成されたものである。

政策的経費については、子ども医療費助成制度の対象年齢の拡大や佐倉市民体育館の改修、公共施設でのキャッシュレス決済導入など、西田市長が掲げる政策を鋭意進めるための事業が数多く盛り込まれているが、これらの事業を実施するための財源として、国庫支出金や地方債、各種基金などの財源を活用し、

持続可能な財政運営の堅持にも努めており、評価に値する。

さくら会では、3月24日、物価高騰対策の早期実現を求める要望書を市長に提出し、真に困窮している市民や事業者等への支援策を早期に実現することを求めた。

今回予算計上されている物価高騰対策の内容は、子育て世帯の経済的負担を軽減する給付金、特に市独自に就学前児童まで対象を拡大して支給されること、また、販売農家や福祉施設、公共交通事業者への物価高騰対策支援、市内中小店舗でのポイント還元など、地域の実情に照らし、さくら会からの要望も加味された提案であると高く評価するところである。よって、議案第2号に賛成する。

自由民主さくら

議案第2号 令和5年度佐倉市一般会計補正予算に賛成

庁用車調達事業は電気自動車導入整備事業債を活用し、2台のEV電気自動車導入に係る経費が計上されました。ゼロカーボンや災害対応のため今後も計画的に導入していくことを要望します。

高齢者安心キットは医療情報の更新がなされていないことも委員会で明らかとなりました。活用の割合が高いので、情報の更新についても対応いただくよう要望します。

市内中小店舗キャッシュレス推進応援事業については、中小店舗並びに利用者への周知徹底を図ることを要望します。

授乳やおむつ替えができる公共施設は、いまだ半数以下であるため、WEラブ赤ちゃんプロジェクト事業の中で環境整備を進めていくよう要望します。

公園等の遊具新設の際には、インクルーシブ遊具を導入していくことを要望します。

高校生等医療費助成事業については、大変評価をしている一方、夜間診療に関しては選定療養費が発生する場合があります。選定療養費が発生した場合には、償還払いの補助を要望します。

議案第8号の公共施設再配置審議会設置条例について

公共施設の再配置方針策定に当たっては、建設的な議論をし、先進事例となり得る方針策定を行うことを要望します。

市民ネットワーク

議案第2号反対の主な理由

戸籍法改正に伴う読み仮名対応の戸籍情報システム改修委託、マイナンバー制度のトラブル解消を図るためだが、約1億3千万人に読み仮名をつける作業は困難が予想され、さらなるトラブルが発生すると思われる。マイナンバー制度上の欠陥であり、個人情報保護の観点からも反対。(仮)西部自然公園整備事業は

重点整備区域内2haの土地購入費。残り9ha合わせると購入総額3億円以上となる。さらに保全エリア内の民有地も順次購入と明らかにした。西田市政1期目で総額100億円以上を大型公共事業(ふるさと広場拡張整備事業、道路建設飯野Ⅱ-31号線、岩富・寺崎線等)に投入しようとしている。物価高やコロナ後の生活不安が続く中、税金の使い方が偏っている。福祉に政策をシフトすべきである。

無会派の会

趣旨には賛成するも、予算の合理性を判断するための資料提供がない3事業を含む第2号補正予算に賛成できないため反対。

①干場公園トイレ新設費用15㎡(約9畳)約2,700万円。積算根拠を示す資料がない。②(仮称)

西部自然公園2ha土地購入費約6,600万円(3,200円/㎡)。購入予定地や順次購入予定とする公園全域73.8ha(東京ドーム15個分)の計画などを示す資料がない。③ジャンボタニシ防除補助金の内容を示す資料がない。**懲罰動議2件** 議員間の対立の深まりを懸念。慎重に判断する。

議案第2号に対する修正案2件に反対

定例会最終日に議案第2号に対する修正案2件が、他会派等の議員の動議により提案された。

公園整備を進めるための土地購入費等を含む(仮称)佐倉西部自然公園整備事業、約7,900万円の全額を減額する修正案と、中志津にある干場公園に公衆トイレを設置するための費用、及び消防団の出初式開催に係る費用の合計、約2,800万円を減額する修正案である。

特に、(仮称)佐倉西部自然公園整備事業については、もっ

と迅速に進めるべきとの市民からの声も多く、ヤード対策の面からも早急な事業実施が必要である。仮に、事業が継続できなければ、市民・関係者からの信頼を失墜させ、その影響は当事業に留まらず、市政全般に広がるものと懸念する。

いずれの修正案も、継続的かつ安定的な行政執行を阻害するものであり、市政の方向性を決定する議会の責任ある役割において、これを看過することはできない。よって、議案第2号に対する修正案については、両案とも、反対する。

公明党

議案第2号 令和5年度佐倉市一般会計補正予算に賛成

本補正予算には、公明党が訴えていた「子どもの成長応援臨時給付金支給事業(市独自給付分)」や「子ども医療費助成対象を高校生相当の18歳までの拡充」、「市内中小店舗キャッシュレス推進応援事業」が盛り込まれている。各事業は市民の生活を守り、地域経済の発展を促進するために必要であり、市民の皆さまが真に必要なとする支援策であることから、可及的速やかに取り組むべきと判断し賛成。

要望として、今後ますます負担が大きくなることが予測される医療費について、その負担を抑えていくためにも、带状疱疹の発症を予防する带状疱疹ワクチン接種の啓発と普及が急務と考える。

人生100年時代と言われる中、特に50歳以上の成人・高齢者のワクチン接種は、健康維持・延伸及びその介護者に寄与することを通じて、医療費の抑制のみならず労働生産性の向上が期待できる。社会全体の利益と医療費の抑制につながるワクチン接種助成制度等の取り組みを早急に行うべきである。

日本共産党

こども医療費助成制度の高校生相当までの拡充を歓迎。しかし遅すぎる決断。拡充部分の予算は年間わずか約8,700万円。近隣市は8月から佐倉は11月。今回の補正予算では、(仮称)西部自然公園の土地購入費に約6,700万

円も計上。総事業費約40億円を見込む岩富・寺崎線等大型道路の関係予算も計上。市長の政治判断が色濃く出る選挙後の議会。暮らしの困窮に対する認識が甘すぎる、西田市政。物価高騰に苦しむ子育て世帯への給付金は、対象の子ども1人にわずか1万円。学校給食の無償化を。

公開と改革

本議会では、予算の内容を説明するための資料が不足している議案が散見された。例えば(仮称)西部自然公園の土地買収や干場公園のトイレ建設等、提供される資料が少なすぎて審議が不可能であった。また、消

防出初式の予算85万9,000円は、1月初旬の真冬に屋外で行われるための予算だ。出初式を極寒の屋外で実施し、団員を疲弊させる意味はない。以上3つの議案について、見直しを求める修正動議を提出したが、否決となった。

会派に属さない議員

議席1番 議案第2号に反対、修正案に賛成。(仮称)西部自然公園の用地購入、干場公園のトイレ設置には賛同するが、市民への説明が不十分。市民が納得できる内容を示したうえで事業実施すべき。委員会等のインターネット配信を求める請願第4号に賛成。



※議席番号と議員名の確認は6ページの議案賛否一覧をご覧ください。

委員会報告

※議案は市長提出議案 ◎委員長 ○副委員長

総務常任委員会

開催日：令和5年6月12日・26日
場所：第三委員会室

《審査結果》

議案1	議案2	議案3	議案5	議案6	議案8
可決	可決	可決	可決	可決	可決
請願3	陳情4				
不採択	不採択				

議案6件、請願1件、陳情1件について審査し、その結果は左表のとおりです。

なお、審査の過程において、次のような意見が出されました。

- ・公共施設再配置方針の策定に当たっては、現状分析を十分に行ったうえで、従来の在り方に捉われない新たな視点で公共施設を見直し、市民ニーズの変化への対応と持続的な行財政運営を目指していただきたい。



石井昇、石井秀明、稲田敏昭
岡村芳樹、◎数根文裕、○徳永由美子、伊藤とし子

文教福祉常任委員会

開催日：令和5年6月27日
場所：第三委員会室

《審査結果》

議案2	請願1	請願2	陳情1	陳情2	陳情3
可決	採択	採択	不採択	不採択	不採択

議案1件、請願2件、陳情3件について審査し、その結果は左表のとおりです。

なお、審査の過程において、次のような意見が出されました。

- ・こども医療費の助成を高校生相当の年齢まで引き上げる『高校生等医療費助成事業』及び未就学児を対象に児童1人当たり1万円の給付金を支給する『子どもの成長応援臨時給付金支給事業（市独自給付分）』については、保護者の経済的負担を軽減し、子育て支援環境の充実に努めようとするものであり、少子化対策に資する施策として高く評価する。今後も、未来を担う子どもたちが健やかに成長し、保護者が安心して子育てができるまちになるよう推進していただきたい。



石井昇、松島梢、鍋田達子
斎藤明美、◎高木大輔、○密本成章、橋岡協美

経済環境常任委員会

開催日：令和5年6月28日
場所：第三委員会室

《審査結果》

議案2	議案4	議案7
可決	可決	可決

議案3件について審査し、その結果は左表のとおりです。

なお、審査の過程において、次のような意見が出されました。

- ・観光イベント事業については、「夢咲くら館」の開館やコロナ感染症の5類への移行など、昨年度からの状況の変化を勘案し、時勢に応じた対応に努めていただきたい。



長谷川泰弘、木崎俊行、三井義文
宇田みおこ、◎山本英司、○望月庄子、平野裕子

建設常任委員会

開催日：令和5年6月29日
場所：第三委員会室

《審査結果》

議案2
可決

議案1件について審査し、その結果は左表のとおりです。

なお、審査の過程において、次のような意見が出されました。

- ・(仮称)佐倉西部自然公園整備事業については、整備を進めるに当たり、市としての明確な方向性を示したうえで、計画的に進めていただきたい。



三谷英継、高橋とみお、齋藤寛之
五十嵐智美、◎村田稯史、○押木孝和、櫻井道明

議会運営委員会

開催日：令和5年6月28日
場所：第三委員会室

《審査結果》

請願4
不採択

請願1件について審査し、その結果は左表のとおりです。

なお、審査の過程において、次のような意見が出されました。

- ・本年度の議会改革推進委員会への議長の諮問事項は、「オンライン委員会の実施方法」についてであり、その傍聴環境の整備の一環として、インターネット中継についても協議されるものと認識しており、当該会議において活発な意見交換をして進めていくべきである。
- ・会議における発言については、不規則発言などが散見される現状を踏まえ、インターネット中継に関する協議を進める一方で、議員自身も発言内容を再考するべきである。

◎平野裕子、○山本英司、石井昇、高橋とみお、宇田みおこ、齋藤寛之、鍋田達子、五十嵐智美、村田稯史、高木大輔

令和5年6月定例会 議案を Pick up !

議案第2号
佐倉市一般会計補正予算より

高校生等医療費助成事業

事業費 45,562千円

現在、中学3年生まで助成を行っている子ども医療費助成制度について、助成対象を高校生相当の年齢まで拡大するための予算を可決しました。



※現在の子ども医療費助成制度と同条件で、令和5年11月診療分から開始します。

子どもの成長応援臨時給付金支給事業（市独自給付分）

事業費 68,564千円

物価高騰の影響を踏まえ、育児に要する経費の負担を軽減するため、未就学児に対し、市独自に1人当たり1万円の給付金を支給するための予算を可決しました。



※小・中・高校1年生へ給付する県事業の対象拡大。

市内中小店舗 キャッシュレス推進応援事業

事業費 189,240千円

物価高騰対策として市内中小店舗を対象にキャッシュレス決済（PayPay）のポイント還元キャンペーンを行うための予算を可決しました。



※令和5年10月11月実施予定。
※期間中の付与上限、利用上限があります。

*各事業の詳細については、こうほう佐倉、市ホームページ等をご確認ください。

懲罰動議

令和5年7月3日付けで、高橋とみお議員に対し、また、櫻井道明議員及び村田稯史議員に対し、それぞれ懲罰動議が提出され、懲罰特別委員会を設置しました。当該特別委員会において継続審査し、8月定例会本会議で懲罰の可否が決定される予定です。

8月定例会の予定

- ◆議会運営委員会 8月22日(火)
 - ◆招集日 8月28日(月) 午後1時から
 - ◆一般質問 9月4日(月)～7日(木)
 - ◆常任委員会 9月11日(月)～14日(木)
 - ◆決算審査特別委員会 9月19日(火)～22日(金)
 - ◆最終日 9月26日(火) 午後1時から
- ☆日程は変更になることもありますので、詳細につきましては議会事務局までお問い合わせください。
議会事務局 ☎043-484-6254

議会百景

市民の皆様へ市議会の活動を分かりやすく伝えていくため、委員一丸となって活発な意見を出し合い、多様化する情報発信の在り方、市民意見交換会の開催など、しっかり議論し、委員会をまとめてまいります。
(広報公聴委員長 高木 大輔)

佐倉市議会においても、今年度よりタブレット端末が導入されました。デジタル化が進む社会ではありますが、様々な世代の方々に手に取って読んでいただける、市民に身近な市議会報を目指してまいります。
(広報公聴副委員長 石井 秀明)